

I 共通目標

地域の豊かさを支え、高いブランド力で国内外に展開する農林水産業

ブランド化や生産性の向上等による競争力の高い農林水産業経営を実現することで、若者が産業としての魅力を感じ、多様な農林漁業者一人ひとりが豊かさを実感できる農林水産業を目指す

＝共通目標指標＝
■ 農林水産業を起点とする産出額3,500億円
■ 生産農業所得1.3倍、東北1位

目標達成に向けた分野別の7つの基本戦略

II 7つの基本戦略

【戦略1】 多様な人材が活躍できる農業経営の実現

・新規就農者のさらなる確保・育成や地域農業を牽引するトプランナー・スーパートプランナーの育成、多様な人材が総活躍できる農業経営の実現を目指していく

【戦略2】 水田農業の収益性の向上

・「つや姫」や「雪若丸」等の県産米全体のブランド振興、スケールメリットを活かした低コスト化等により、水田農業の競争力強化と収益性向上を目指していく

【戦略3】 「園芸大国やまがた」の実現

・本県の強みである果樹のブランド力の強化、水田フル活用による野菜等の大規模園芸団地化、次世代型施設園芸の導入により、園芸作物のさらなる拡大を目指していく

【戦略4】 県産農林水産物の魅力の向上と販売促進

・6次産業化や農業と観光の連携等による新たな価値の創出、農産物等のブランド化、国内外への販路拡大により、県産農林水産物の競争力強化や所得向上を目指していく

【戦略5】 畜産業の競争力強化

・国内外の競争激化を踏まえたブランド力の向上や規模拡大等により、畜産業の競争力強化を目指していく

【戦略6】 「やまがた森林^{モリ}ノミクス」の推進

・県民総参加で森林資源を利活用する「やまがた森林^{モリ}ノミクス」を推進し、林業・木材産業の収益性の向上を目指していく

【戦略7】 水産業のさらなる振興

・豊かな海づくり大会を契機とした水産業のさらなる振興を図り、ブランド化や消費拡大による漁業者の所得向上を目指していく

元気再生戦略の推進方法は、

- 共通目標の達成に向け、分野別の基本戦略に基づく施策をプロジェクト方式で推進していく
- また、66のプロジェクトと138の数値目標を設定し、毎年度、評価検証しながらプロジェクトの見直しを図っていく

III 基本戦略の取組方向

【戦略1】 多様な人材が活躍できる農業経営の実現

(1) 意欲ある新規就農者の確保・育成と地域農業を支える多様な人材の確保

- ① 新たな担い手育成確保支援プロジェクト(P25) ② 輝くアグリウーマン育成プロジェクト(P26)
 ③ 農業労働力確保プロジェクト(P27)

(2) 地域農業を牽引する競争力の高い経営体の育成

- ① 農業トプランナー育成・発展プロジェクト(P28) ② 農業経営力向上支援プロジェクト(P29)
 ③ 農業者ネットワーク化支援プロジェクト(P30) ④ 担い手農地集積・集約化促進プロジェクト(P31)
 ⑤ 農業情報発信力強化プロジェクト(P32) ⑥ 農業経営セーフティネット強化プロジェクト(P33)
 ⑦ スマート農業普及拡大プロジェクト(P34)

(3) 地域資源をフルに活用した多様なスモールビジネスによる所得確保と活力ある地域づくり

- ① 中山間地域持続的農地保全推進プロジェクト(P35) ② 中山間地域農業・農村活性化プロジェクト(P36)
 ③ 元気な地域づくり支援プロジェクト(P37) ④ 鳥獣被害防止対策プロジェクト(P38)
 ⑤ 再生可能エネルギー導入推進プロジェクト(P39)

主な目標指標	現状値	目標値(H32)
生産農業所得	851億円(H26)	1,100億円
新規就農者(4年間の累計)	1,095人(H24~27)	1,400人(H29~32)
女性農業士数(指導農業士+青年農業士)	34人(H27)	60人
トプランナー数 (うち、スーパートプランナー数)	957経営体(H27) (128経営体(H27))	2,000経営体 (260経営体)
農業法人数	401法人(H27)	800法人
担い手への農地集積率	60.2%(H27)	78%
中山間地域の農地保全取組面積	7,853ha(H27)	8,300ha
鳥獣による農作物被害金額	581百万円(H27)	440百万円

【戦略2】 水田農業の収益性の向上

(1) 県産米のさらなるブランド振興と低コスト化による水田農業の収益性向上

- ① 県産米ブランド化戦略プロジェクト(P40) ② 需要に応じた米生産対策推進プロジェクト(P41)
 ③ 県産大豆評価向上・安定生産プロジェクト(P42) ④ 県産そばブランド化推進プロジェクト(P43)

(2) 水田農業の競争力強化と持続的発展のための生産基盤整備

- ① 水田農業低コスト化基盤整備促進プロジェクト(P44) ② 農村インフラ機能保全プロジェクト(P45)

主な目標指標	現状値	目標値(H32)
米による産出額	668億円(H26)	930億円
「つや姫」の価格ポジション	魚沼産コシヒカリに次ぐ(H28)	魚沼産コシヒカリに次ぐ
「雪若丸」の作付面積	10ha(H28、試験栽培)	1,700ha(H30)
大区画水田ほ場整備面積(累計)	3,160ha(H27)	4,000ha
水稻直播栽培面積	2,360ha(H28)	3,500ha

【戦略3】 「園芸大国やまがた」の実現

(1) ブランド力のさらなる強化と次世代につなぐ果樹産地の強化

- ①山形さくらんぼ世界一ブランド強化プロジェクト(P46)
- ②西洋なし産地ブランド強化プロジェクト(P47)
- ③りんご産地生産力強化プロジェクト(P48)
- ④ぶどう産地活性化プロジェクト(P49)
- ⑤「北の桃源郷」もも産地拡大プロジェクト(P50)
- ⑥特産果樹産地強化プロジェクト(P51)

(2) 次世代型施設園芸の導入と水田フル活用による野菜産地の拡大

- ①山形えだまめ・すいか日本一産地化プロジェクト(P52)
- ②野菜産地ランクアッププロジェクト(P53)
- ③やまがた野菜産地再生プロジェクト(P54)
- ④やまがた次世代型施設園芸推進プロジェクト(P55)

(3) 水田フル活用による露地花きの産地拡大と施設花きの収益性向上

- ①露地花き産地拡大プロジェクト(P56)
- ②施設花き生産性向上プロジェクト(P57)

(4) 大規模園芸団地づくりや水田畑地化等による産地基盤の強化

- ①園芸作物大規模集積団地推進プロジェクト(P58)
- ②水田畑作化基盤強化プロジェクト(P59)

主な目標指標	現状値	目標値(H32)
園芸作物による産出額	1,090億円(H26)	1,300億円
果樹産出額	656億円(H26)	710億円
野菜産出額	364億円(H26)	500億円
花き産出額	70億円(H26)	90億円
さくらんぼ大玉品種の開発	-	品種登録1品種(H31)
次世代型施設園芸の拠点数	-	5か所
新たな大規模集積園芸団地数	-	20団地

【戦略4】 県産農林水産物の魅力の向上と販売促進

(1) 新たな付加価値を創出する6次産業化のさらなる拡大

- ①農林漁業者自らの6次産業化プロジェクト(P60)
- ②農林漁業者と食品製造業者等との連携による6次産業化プロジェクト(P61)
- ③地域の6次産業化プロジェクト(P62)
- ④「農」と「食」による観光交流拡大プロジェクト(P63)
- ⑤6次産業化推進基盤確立プロジェクト(P64)

(2) 価格競争に左右されない「山形ブランド」の創出・定着と輸出促進

- ①「おいしい山形」流通戦略推進プロジェクト(P65)
- ②県産農産物等販路拡大プロジェクト(P66)
- ③「山形ブランド」評価向上プロジェクト(P67)
- ④食育・地産地消県民運動展開プロジェクト(P68)
- ⑤県産農産物等輸出拡大プロジェクト(P69)
- ⑥輸出基盤対策プロジェクト(P70)

(3) エコ農産物の付加価値向上と環境や安全に配慮した生産管理の導入促進

- ①エコ農産物生産推進プロジェクト(P71)
- ②有機農産物生産拡大・ブランド化プロジェクト(P72)
- ③安全農産物生産推進プロジェクト(P73)

主な目標指標	現状値	目標値(H32)
産地直売所販売額	93億円(H27)	130億円
食料品製造業の製造品出荷額等	3,011億円(H26)	4,500億円
主要都市の中央卸売市場における県産農産物(野菜・果実)の取扱金額	5,562百万円(H27)	6,100百万円
県産農産物の輸出货量	987t(H27)	1,300t
有機農業の取組面積	696ha(H27)	990ha
「山形県版GAP」に取り組む農家割合	15.7%(H28)	50%

【戦略5】 畜産業の競争力強化

(1) 山形生まれ山形育ちの畜産物の生産拡大とブランド力向上

- ①地域で支える畜産クラスター推進プロジェクト(P74)
- ②やまがたの和牛増頭加速化プロジェクト(P75)
- ③酪農生産性向上・消費拡大プロジェクト(P76)
- ④県産銘柄豚生産・販路拡大プロジェクト(P77)
- ⑤養鶏生産・販路拡大プロジェクト(P78)
- ⑥やまがた畜産ブランド推進プロジェクト(P79)

(2) 耕種農家と畜産農家の連携による県産飼料の生産・利用拡大

- ①県産飼料生産拡大プロジェクト(P80)

主な目標指標	現状値	目標値(H32)
畜産による産出額	447億円(H26)	500億円
繁殖雌牛頭数	6,140頭(H27)	7,500頭
飼料作物の作付面積(飼料用米含む)	10,333ha(H27)	11,200ha

【戦略6】 「やまがた森林ノミクス」の推進

(1) やまがた森林ノミクスを支える人材の育成・確保

- ①森林ノミクスを支える人材育成・確保プロジェクト(P81)

(2) 木を育て・使い・再び植える「緑の循環システム」の構築

- ①再造林推進プロジェクト(P82)
- ②県産木材安定供給プロジェクト(P83)

(3) 県民総参加による県産木材の率先利用の促進

- ①県産木材率先利用プロジェクト(P84)
- ②林工連携推進プロジェクト(P85)

(4) 「森の恵み」を活用した中山間地域での所得向上と雇用の創出

- ①やまがた山菜・きのこ日本一産地化プロジェクト(P86)

主な目標指標	現状値	目標値(H32)
林業による産出額	86億円(H26)	155億円
林業の新規就業者数(4年間の累計)	222人(H24~27)	270人(H29~32)
林業士(指導・青年)の数	51人(H28)	71人
木材(素材)生産量	36万m ³ (H27)	60万m ³
再造林率	33%(H27)	100%
森林管理認証の取得団体数(累計)	-	5件
民間施設(産業用建築物)の木造化率	43%(H27)	55%
山菜・きのこの産出額	63億円(H26)	74億円

【戦略7】 水産業のさらなる振興

(1) 海面漁業のブランド化と庄内浜水産物の消費拡大による漁業者の所得向上

- ①海面漁業生産基盤強化プロジェクト(P87)
- ②県産水産物付加価値向上推進プロジェクト(P88)
- ③県産水産物利用拡大プロジェクト(P89)

(2) 内水面漁業振興による地域活性化

- ①内水面漁業振興プロジェクト(P90)

主な目標指標	現状値	目標値(H32)
水産業による生産額	35億円(H26)	45億円
漁業の新規就業者数(4年間の累計)	51人(H24~27)	70人(H29~32)
県内内陸部における庄内浜産水産物流通比率	10.5%(H25~28平均)	15.0%